

# ものれ〜る 64号



平成28年10月1日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線279)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

## 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会 総会が開催されました

平成28年8月3日(水)に立川市で第35回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会が開催されました。

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会は、多摩地域の都市モノレール等の建設を促進し、南北交通結節機能の強化を図ることにより、公共交通機関の不足を補うとともに自立的都市圏の確立と、地域社会の開発及び住民福祉の向上を図ることを目的として多摩23市3町1村の市町村長、議長、議員、担当部長が構成員となり、昭和57年に設立された協議会です。武蔵村山市長は、協議会の副会長となっています。

総会では、平成27年度決算や平成28年度事業計画案などが議決されたほか、総会決議が行われました。

### 決議

都市鉄道を取り巻く環境が大きく変化し、東京の都市力を一層高めていく必要性が増している中で、多摩都市モノレール事業は、多摩自立都市圏の形成を図る上で重要な公共交通網の根幹をなしている。また、沿線のまちづくりを促し、各拠点間の更なる連携や交流を可能にするものであり、構想路線全線の早期事業化が強く望まれている。

国は平成二十八年四月に、東京圏における今後の都市鉄道のあり方についての答申をとりまとめ、そこでは地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに、多摩都市モノレールの上北台から箱根ヶ崎、多摩センターから八王子、多摩センターから町田への延伸が挙げられている。

こうした中、多摩センター駅・上北台駅間約一六キロ区間における一日平均の乗客数は、多摩都市モノレール株式会社の実施したサービス向上などの取組みにより、平成二十七年度では約十三万八千人となり、地域市民の足として、定着していることは、まことに喜ばしい限りである。

これもひとえに国、東京都はもとより地元国会議員及び都議会議員の皆様のご尽力とご支援の賜であり、ここに深く感謝申しあげるとともに、迅速な事業着手に向け、さらなるお力添えをお願いするものである。

今後とも、多摩地域を相互に結ぶ多摩都市モノレール全線九十三キロの早期開業を期するため、国、東京都及び関係機関に対し、引き続き事業促進を強く求めるとともに、促進協議会加盟市町村が一致協力し、事業の促進に全力で取り組むことを、ここに宣言する。

右、決議する。

平成二十八年八月三日

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

# 多摩都市モノレールフォトコンテストの

## 入賞作品が**決定**しました！！



最優秀賞 モノレール部門  
「夕日に走る」 岩田 満 様



最優秀賞 市内風景部門  
「雪の里山」 佐藤 栄一 様

### 優秀賞 モノレール部門

- ・内野 隆造 様
- ・田中 金次 様
- ・本田 誠 様
- ・佐藤 保治 様
- ・藤田 勉 様
- ・松島 国五郎 様

### 優秀賞 市内風景部門

- ・井上 三郎 様
- ・相馬 昭夫 様
- ・高橋 正仁 様
- ・齋藤 義則 様
- ・高梨 直 様
- ・村山 孝司 様

※入賞作品は武蔵村山市公式ホームページからご覧になれます。

### ～表彰式～

8月24日（水）に市公室にて多摩都市モノレールフォトコンテストの表彰式が行われ、入賞者の方々に市長から賞状と賞品が贈呈されました。

表彰式後に市長と入賞者の皆さんが歓談し、作品に対する思いや撮影場所・構図などの話して盛り上がりました。



## 多摩都市モノレール(株)決算報告

多摩都市モノレール株式会社の第30期（平成27年度）の決算報告が公表されました。

年間乗客数は延べ約5,049万人（前期比6.5%増）、一日平均乗車人員137,972人（前期比6.3%増）でした。また、運輸雑収は2億33百万円（前期比8.1%増）、運輸収入と運輸雑収を合わせた営業収益は84億52百万円（前期比6.8%増）となり、第23期（平成20年度）から7期連続の黒字決算となりました。

